

N. d'Amoshaifan

ほほ月刊 んだもしたん
(諸県弁の「まあどうした事でしょう」)

発行 有限会社ナツプ
編集責任 中田 等

発行日 平成三十年十一月
問合せ先 〇九八五五二七四〇九

二つの空を飛ぶ物

今年、内之浦から打ち上げられたイプシロンロケットを自宅から見る事が、出来ました。曇り空でしたが、夜だった為、南の空から東北に飛んで行くロケットが、はっきりと見えたので、大変、感動しました。

それで、八月に内之浦宇宙空間観測所に見学に行きました。車で回らないと行けない広大な敷地で、ロケット発射台や組立室等が有り、ロケットのレプリカも展示されていました。中でも巨大なパラソラアンテナが、十数基も建っている光景には、圧倒されました。宇宙科学資料館は、日本のロケット開発の歴史が、大変良く解る施設でした。又、小惑星探査機「はやぶさ」の打ち上げ成功でも注目されました。

九月には、薩摩半島に行きました。唐船峡そうめん流しで昼食を取り、池田湖や開聞岳を回り、一番の目的である知覧特攻平和会館へ見学に行きました。



特攻隊として知覧を飛び立って、南の海に散った若者達の遺影を目にした瞬間、涙が溢れてきました。

数多くの展示物が有り、中でも達筆な遺書を読むとあの戦争の悲惨さが、よく解ります。母親の目線で見学した為か、もし、我が子が、あの時代に産まれていたらと、考えると辛くなりました。一時間しか見学出来ませんでした。が、それでも戦争は、二度としてはならないと思えました。

それから、一週間後の九月二十三日に、種子島宇宙センターから宇宙ステーションに物資を運ぶロケット「こうのた。

それから、一週間後の九月二十三日に、種子島宇宙センターから宇宙ステーションに物資を運ぶロケット「こうの

とり」が、打ち上げられました。夜中でしたが、ベランダから見る事が、出来ました。タフレットを片手にカウンタダウンを聞きながら待つと、南の空がオレンジ色に染まって、ロケットが発射されたのが判りました。西に丸い月、東にオリオン座が見え、その間を数分、低い弧を描いて飛ぶロケットが、はっきりと判り、幻想的な光景で、何とも言えない感動を覚えました。

若者達の未来を奪った戦闘機と未来に夢をつなぐロケット。相反する、この二つの空を飛ぶ物を作ったのは、人間です。

平和のありがたさを、つくづく感じた夏の出来事でした。(百)

驚異の台風二十四号襲来!

先月の台風24号は、かなり風雨の勢いが強かったですね。私の所はマンションの9階の部屋なので強風が窓に当たると、サッシに隙間ができてサッシの下から雨水が吹きあがって入ってきて大変でした。強風域に入るにつれどんどん風雨が強くなり、私の部屋から見える大淀川は見る見るうちに水かさが増えて河川敷が少しずつ水に浸かり出し、3分くらいで河川敷が見えなくなりました。堤防の水かさもどんどん増えてきて、消防車のサイレンが聞こえだし、高齢者の避難勧告を促す声も聞こえてきて、このまま雨が降り続けば堤防が決壊するのではないかと私も不安になりました。しかしその後、風は強かったけど雨が小降りになって来たので水かさが増える事はありませんでした。ここ3年間で台風が数回きて、大雨で河川敷が何回か浸かったけど、水かさが増えて堤防の上の道の2メートルくらい下まで水位が上がって来たのは初めてでした。風水害への注意を怠らないようにしていきたいですね。(誠)



ランチ野郎 見参!

「熱々ハンバーグが食べたいの巻」

ハンバーグが食べたくなると「小さな洋食屋さん Bruno ブルーノ」に行ってみました。ブルーノはレマン近くの明月館の隣にある小さな洋食屋さんです。

ここのお勧めはブルーノ風ハンバーグで、私はそれを注文して、妻はキノコたっぷりハンバーグを注文しました。金額は両方とも千円(税別)です。

男性は、自分を含めて2名のみで、あとは全て女性でした。「女性が多い=美味しい」の方程式があてはまるかどうか分りませんが期待が膨らみます。

最初にサーモンか自家製ハムのサラダを選ぶことが出来ます。そして、ライスか自家製のパンのどちらかを選べるので、私は自家製ハムのサラダとパンを注文する事にしました。店内には野菜を育てている写真が貼ってあったの



で、おそろこのサラダの野菜も自家製でしょうか?とても新鮮です。そして、ブルーノ風ハンバーグがグググツの鉄板で運ばれて来ました。ハンバーグにビーフィッシュがかかっていて大きな肉の塊がハンバーグの上に乗っています。添えてある野菜も熱々で、ビーフィッシュの肉の塊も熱々、そしてハンバーグも熱々でした。

今日の教訓、方程式の「女性が多い=美味しい」は正しかった。(大)

大阪旅行

なかなか踏み出せない地でありましたが、10月6〜8日で行ってきました。正直な気持ち…大阪最高やん！ が旅行を終えての感想です。

1日目

宮崎空港から伊丹空港へ。大阪いい天気ってよりも暑い暑い。宮崎より暑いかも！

到着するなり、大阪城へ。青空に映えて素晴らしい光景、後のスケジュールが詰まっているので大阪城をバックに写真を撮って、新世界に移動。着くなり飲食店がずらーっと。昼間っからみんな酒飲んでワイワイしてる！ 呼び込みの子がこれまた面白いこというし、となりの店の音楽に合わせて歌いながら踊ってたww踊りながら「席空いてますよ〜どうですか〜」射的、スマートボール、レトロゲーム、ザ・昭和の趣。通天閣をバックに写真を撮って串カツだるま屋へ。串カツ、どて焼きを食べながらのビールは最高、雰囲気もいいし、ここにこれだけで満足。大阪といえは、新喜劇を見て行かないというところなんばランド花月へ。これがまた面白い！ 宮崎は吉本新喜劇が見れないので、生でみ

れて大満足。その後、グリコの看板をパチリ！ 夜の戎橋は凄い人！この橋から阪神優勝したら飛び込むんやと思うと、あはやなって思うのは私だけ？

2日目

朝もよからユニバーサルスタジオジャパンへ！ もーおじさんはしゃまくりwwwwやばみーすげーうおおーって叫んだわな。人多すぎて、結局乗れたのは、ハリポッター、エヴァンゲリオン、スパイダーマンの3つでしたがすべて待ち時間1時間オーバー。熱中症対策をしていかないと、自動販売機にも長蛇の列でした。大阪は

くいだおれの街と言いますが、ほんと旨そうなのが沢山でした。たこ焼き、お好み焼き、イカ焼き、串カツ、どて焼き、551の肉まん。デブの源がいっぱい(笑)また絶対行きたい！東京よりも大阪があつてると思った、大阪の元気をもらった素敵な旅行でした。(光)



いんちきクワイマーが行く！

「くじゅうでテント その1」編

くじゅうとは、大分県九重町から竹田市久住町にかけて広がる山域で、九州本土最高峰の中岳(1791m)を有し、阿蘇くじゅう国立公園に指定されています。

その山群の中心にぽっかりと広い草原があり、標高は1200m。ここは坊がつると言われています。水場、トイレ、炊事場が設置されており、無料でテントが張れる場所なので、九州ばかりか、全国から山好きな人が、子供からお年寄りまで集う場所です。そんな場所へ、テント背負ってのんびり行ってきましたよ。

くじゅうまで、車で三時間。ちょっと気合入れないと行けない距離です。ただのテント泊だけではもったいないからと、男池登山口より風穴ルート経由で大船山(たいせんざん 1786m)を踏むこととします。しかし誤算がありました。装備の重さが、いつもの倍であった事……。

男池駐車場からのスタートは、晴れ間も見えて順調です。高揚した気分からか、荷物も軽く感じます。野鳥のさえずり、木々の木漏れ日。なんとも素敵な空気の中、順調に足を運びます。この時期に見れる花のキツネノカミソリ。オ

レンジ色がきれいです。最初のポイントかくし水が見えてきました。この湧き水は本当においしい水です。いまのところ私のベストです。

やがて空には雲が垂れ込め、森はいよいよ深くなり、薄暗い乳白色のガスの中を、枯れ沢のゴロ石に苦戦しながらひたすら進みます。ザックが肩にかけた頃ようやく風穴へ。これは、地下水の空洞が地表に小さなトンネルを開けているところで、一年中冷たい空気が出る場所なのです。ここで涼んで休憩をとる予定でしたが、学校のグループでしようか、中学生くらいの生徒たちの嬌声が響き、風穴の前は渋滞。やれやれ、予定を変更して、汗を拭いただけですぐに歩き始めます。

大船山のとりつきに到着です。本格的に登りがはじまります。地形図の等高線が、この登りのきつさを表しています。ほぼ直登で、ひたすら登るだけのルートです。ああ、ザックが重い。息があがる、吹き出す汗。コースタイムを大幅にオーバーし、休み、休みでなんとか尾根にたどりつきました。

ここは米津という名前で、大きな噴火口が口をあけております。しかし、雲が降りているので、あたりは真っ白。視界は前後左右10m程度。米津の絶景はおあずけです。ここからは噴火口のフチを平円形に岩場と灌木帯を歩きます。



すさまじい藪漕ぎの始まりでした。藪漕ぎとは立ちほだかる木の枝や伸び放題の野草をグワングワシとかき分けて進むことを指します。雪の中に腰まで沈みこみながら前進するラッセルが、緑色になった感じですが、Tシャツ一枚の身体に、ずんずんと引っかけキズが増えていきます。気が付けば、ザックにくくりつけていた、タオルも帽子も無くなっておりました。そして何より、体力が削られ消耗し、足の筋肉が悲鳴をあげます。二十分ほど藪漕ぎを続けた頃、ついに両足が同時に攀りはじめ、一歩もつげずに立ち往生。どうなる・俺…つづく (賢)

編集後記
 昨年の2017年12月10日は清々しい一日となった！フルマラソンを完走して妻から頑張ったね！と褒められ、スタジアムで応援する骨髄バンクの女子にも温かい言葉を頂いた。思い返せばその二年前、惜しくも完走を逃し、不完走記念？の無地ブルータオルをポケットに隠し、完走したランナーの白い完走記念タオルを羨ましく思った。私はその口惜しさがマラソン完走に繋がったと確信している。あれから10ヶ月が経ち、調子こいて今年もまた6月20日に青太エントリーこの時はまだ先の話と余裕があるのだが、ついに10月14日になりやっこの事で重い腰を上げる？この日はジョギング2kmと3kmウォーキング徐々にペースを挙げられるか？人の成長とは自分の殻を破る事だ！何かで知った。さて今年はどうな殻を破れるか？青太フルマラソンが年末の私の楽しみとなつている。(等)